





令和5年度 基本評価調書		所管部局	農政部	所管課	農政課	農村設計課
施策名	農村活性化対策の推進			施策コード	0609	
政策体系(中項目)	農林水産業の持続的な成長			政策体系コード	2(1)A	
関連重点戦略計画等	知事公約、北海道創生総合戦略、北海道強靱化計画					事務事業数
						16
特定分野別計画	第6期北海道農業・農村振興推進計画					
SDGs					総合判定	順調
予算額(千円)	R 5	48,253千円	R 4	15,140,827千円	R 3	15,799,916千円

施策目標	地域農業者をはじめとしたコミュニティ活動の推進や地域資源を活かした都市・農村交流、農業・農村の持つ多面的機能の発揮を促進することにより、活力に満ちだれもが心豊かに暮らしていける農村づくりに取り組む。
現状と課題	<p>(地域住民による農村づくり) 都市部に比べ人口減少が進む農村では、コミュニティ機能の低下が懸念されており、農村の持続性を高めつつ、農業・農村の持つ多面的機能の発揮に向けた取組が求められている。</p> <p>(地域資源を活かした都市・農村交流) 農村では人口減少や高齢化が進行していることなどから、地域の活力低下が危惧されており、都市住民等に対し農村の魅力にふれる機会を提供し、農業・農村への理解を深めてもらうとともに、地域の活性化につなげていくことが重要。</p>
前年度二次評価意見	
対応状況	

〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(地域住民による農村づくり) 人口減少や高齢化に伴い、地域の活力低下が懸念される農村地域において、農地や土地改良施設が有する多面的機能の発揮と地域住民活動の活性化を図る取組を推進。</p> <p>(地域資源を活かした都市・農村交流) ・都市と農村の交流を進めるため、農業や観光業等多様な主体が地域ぐるみで取り組む「農村ツーリズム」を推進しており、地域における組織体制の強化の取組のほか、受入農家等の意欲向上を図る研修会の開催など、受入体制強化に向けた取組を実施する。 ・コンセンサスの推進としては、農業者の活動支援、ホームページや情報誌、SNSを活用した情報発信によるふれあいファーム登録農家の支援等を行っていく。</p>
実績と成果	<p>(地域住民による農村づくり) 関係市町村及び活動組織に対して、現地意見交換会等により、新規立ち上げ及び取組拡大に向けた課題解決を支援したことにより活動面積増など成果があった。 R2 776千ha、R3 777千ha、R4 782千ha</p> <p>(地域資源を活かした都市・農村交流) ・関係機関及び農泊地域等で構成する北海道農泊推進ネットワーク会議を7月19日に開催し、国の農泊事業や道の取組方針等について情報共有し、関係機関との連携を強化。 ・農業者や農業者と農業関係以外の団体・教育関係機関などが連携して行う農村と都市住民の交流活動や活動の支援(R2年度:3件 R3年度:5件 R4年度:4件)、情報誌の発行(年2回)、道のHP、SNSによる情報発信等を実施。(ふれあいファーム登録数(累計)R2年度:806、R3年度:794、R4年度:774)</p>
参考HP①	
参考HP②	
参考HP③	

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	維持	千ha	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
多面的機能支払の取組面積	目標値		734	768	768	768	101.8%	A
	実績値		776	777	782.0			

設定理由 多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動の取組対象となる農用地面積をもとに地域活動への支援の取組状況を測る指標であり、課題である農業・農村の持つ多面的機能の発揮に向けた取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査 8月頃公表 **出典（根拠計画等）** 北海道農政部調べ

分析（主な取組と成果）

多面的機能支払事業の着実な実施により地域の共同活動の取組が支援されており、効果が認められる。

指標名②	増加	人	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
農村ツーリズムの受入活動実践農家の割合	目標値		6.9	7.0	7.1	7.3	102.8%	A
	実績値		6.8	7.2	7.3			

設定理由 総農家戸数に占める農村ツーリズムの受入施設数の割合をもとに農村ツーリズムの取組状況を測る指標であり、課題である地域の活性化に向けた都市住民の受入体制整備の取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査 8月頃公表 **出典（根拠計画等）** 北海道農政部調べ

分析（主な取組と成果）

関係機関や団体と連携して、農村ツーリズムの推進に向けた体制強化などの取組を実施したことから、総農家戸数に占める農村ツーリズムの受入施設数の割合は増加している。

指標名③	維持	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
ふれあいファームに登録している農家の割合	目標値		2.8	2.8	2.8	2.8	96.4%	B
	実績値		2.6	2.7	2.7			

設定理由 意欲的な農業者を「ふれあいファーム」に登録し、都市住民等に対し農村の魅力にふれる機会を提供することにより、農業・農村への理解を深めてもらう取組の状況を測る指標であり、課題である地域の活性化に向けた、農村地域のもつ豊かな自然や食などを活用した都市住民と農村との交流を促進する取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査 6月頃公表 **出典（根拠計画等）** 北海道農政部調べ

分析（主な取組と成果）

離農や高齢化などにより、ふれあいファームへの登録件数は減少しているが、道のホームページやSNS、情報誌を活用した情報発信など、登録農家の支援を推進することにより、登録農家の割合を一定に保っている。

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	<p>(課題) (地域資源を活かした都市・農村交流) 地域の組織体制強化には、地域のネットワーク化による情報共有をする場が必要である。</p> <hr/> <p>(取組) (地域資源を活かした都市・農村交流) 農林漁業や観光の関係機関や大学、地域の事業実施主体等を構成員とする北海道農泊推進ネットワーク会議を開催するなど[2回(R4)]、農村ツーリズムの一層の推進に向け体制強化を図ることができた。</p>
緊急性 優先性	<p>(課題) (地域住民による農村づくり) 農地や水路、農道等の保全活動等を適切に実施するためには、予算の確保と地方負担の軽減が必要。 (地域資源を活かした都市・農村交流) 農村地域の活性化に向けて、所得の向上や都市との交流など関係人口の拡大が引き続き求められている。</p> <hr/> <p>(取組) (地域住民による農村づくり) 「国の農業施策に関する提案」の中で、「多面的機能支払交付金」に係る予算の確保と地方負担の軽減について、国へ要請(直近はR5年6月)。 (地域資源を活かした都市・農村交流) 「国の農業政策に関する提案」の中で、都市と農山漁村の交流を促進し、地域の活性化と所得向上を図る「農泊」の取組をより一層推進するため、農山漁村振興交付金の農泊推進対策に係る予算を確保することを国に対して要請をしている(直近はR5年6月)。</p>

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

〈総合判定〉

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	—		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

(—)

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	(地域資源を活かした都市・農村交流) 農村ツーリズムの受入体制強化に向け着実に推進する。ふれあいファームは平成9年度に登録を開始して以来、都市住民に農村の魅力を感じてもらい交流拠点としての役割を果たしてきた一方、離農や高齢化により登録数が減少しており、ホームページや情報誌などによる継続した情報発信の取組等を通して、新規登録の確保と登録農家の支援に努める。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	
--------	--

令和5年度 事務事業評価調書				施策名	農村活性化対策の推進	施策コード	0609
----------------	--	--	--	-----	------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0122		一般	農業国際交流推進事業費	・青年農業者等の農業先進国への派遣研修や、視察者の受入れなどによる海外との交流推進	農政課		1,323	1,323	0.5	0.0	0.5	5,243			
0123		一般	農業・農村コンセンサス形成総合推進事業費	・農業者等が行う農業・農村に対する道民コンセンサスの形成に向けた取組への支援等	農政課		2,327	2,327	1.3	0.0	1.3	12,519			
0913		一般	中山間ふるさと・水と土保全対策事業推進費	・中山間ふるさと・水と土保全対策事業に係る調査研究事業、研修事業等の実施	農村設計課		27,022	12,622	1.8	1.4	3.2	52,110	①	改善(取組分析)	
0914		一般	農山漁村振興交付金推進費	・農泊に関する講習会の開催、活動地区の調査、普及啓発	農村設計課		2,500		0.5	0.0	0.5	6,420	①	改善(取組分析)	
0915		事務	農山漁村振興交付金に関する事務	・農山漁村振興交付金の調整事務	農村設計課				0.4	1.3	1.7	13,328	①	改善(取組分析)	
0917		事務	子ども農山漁村交流プロジェクトに関する事務	・受入協議会の支援等に関する事務	農村設計課				0.2	0.4	0.6	4,704	①	改善(取組分析)	
0918		事務	滞在型余暇活動に資するための機能の整備に関すること	・市町村計画の指導審査に関する事務	農村設計課				0.1	0.0	0.1	784	①	改善(取組分析)	
0919		事務	グリーン・ツーリズムの受入体制整備に関する事務	・グリーン・ツーリズムの受入体制整備に関する事務	農村設計課				0.8	2.0	2.8	21,952	①	改善(取組分析)	
0920		事務	農山漁村振興交付金	・市町村等の各種支援に係る相談等事務	農村設計課				0.4	1.3	1.7	13,328	①	改善(取組分析)	
0921		事務	農村振興の政策企画及び総合調整に関すること	・農村振興の政策企画及び総合調整に関する事務	農村設計課				0.5	0.0	0.5	3,920	①	改善(取組分析)	
0922		一般	多面的機能支払事業費	・多面的機能を支える地域の共同活動を支援するための交付金事務	農村設計課				0.1	0.1	0.2	1,568	①	改善(取組分析)	【事務事業のコスト】 国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。
0923		一般	中山間地域等直接支払交付金	・中山間地域等において農業生産条件の不利を補正することによる生産活動を支援するための交付金事務	農村設計課				4.0	4.7	8.7	68,208	①	改善(取組分析)	【事務事業のコスト】 国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。
0924		一般	中山間地域等直接支払推進交付金	・中山間地域等直接支払事業を円滑に推進するための推進交付金事務	農村設計課				2.4	2.9	5.3	41,552	①	改善(取組分析)	
0925		一般	中山間地農業ルネッサンス推進事業費	・地域の創意工夫あふれる取組や支援制度の活用事例の紹介等を推進するための推進交付金事務	農村設計課		11,497		0.3	0.1	0.4	14,633	①	改善(取組分析)	
0927		一般	棚田地域振興緊急対策事業費	・棚田地域振興法に基づき棚田地域の振興に取り組む地域を支援するための交付金事業	農村設計課				0.1	0.1	0.2	1,568	①	改善(取組分析)	
0928		一般	農村ツーリズム再生事業	・多様な業種との連携等受入体制強化支援	農村設計課		3,584	2,133	0.2	0.5	0.7	9,072	①	改善(取組分析)	
											0.0	0			
計						0	48,253	18,405	13.6	14.8	28.4				